

新潟支部加入者は運動不足&多量飲酒
～2022年度 協会けんぽ新潟支部スコアリングレポート発表～

協会けんぽでは、2022年度のスコアリングレポート（※1）を作成しました。新潟支部は全32の指標のうち、17の指標でAランク（47支部中10位以内）を獲得しました。

その一方で、13の指標ではBランク（11～37位）、2つの指標ではCランク（38～47位）となりました。特に運動習慣や飲酒習慣が課題であることが浮き彫りになりました。

（※1）協会けんぽ47支部ごとの健診受診率、特定保健指導実施率に加え、男女別の健診結果や問診結果の年齢調整平均値及び医療費をレーダーチャートやグラフにより「見える化」し、支部の全国順位と健康課題を把握できるようにした資料

■新潟支部スコアリングレポートの特徴

I 健診受診率・特定保健指導実施率の概要

生活習慣病予防健診受診率、被保険者の健診受診率（生活習慣病予防健診＋事業者健診）、被扶養者の特定健診受診率の3項目でAランク。被扶養者の初回面談実施率、6か月後評価実施率は全国平均を下回っている。

II 生活習慣病リスク保有者の割合

メタボリック、メタボリック予備軍、腹囲、血圧、代謝（血糖）リスクは男女ともにAランク。男女の脂質リスクのみBランクで女性の脂質リスク保有者の割合は全国平均より高い。しかし、生活習慣病リスク保有率が最も高いのは血圧であり、男性52.4%、女性が33.0%が高血圧である。

III 生活習慣要改善者の割合

男性の運動習慣要改善者の割合と飲酒習慣要改善者の割合がCランク。男性の喫煙習慣者、男女の運動習慣要改善者、男性の飲酒習慣要改善者の割合が全国平均より高い。

IV 医療費の状況（2021年度まで）

2018年度から2021年度まで1人当たり医療費は全国最低となっている。

協会けんぽ新潟支部加入者は、特に運動不足や多量飲酒する人が多く、男性の喫煙率も高めとなっていることから、高血圧症を引き起こし、さらには脳血管疾患発症のリスクが高くなるおそれがあります。

次年度からスタートする第3期データヘルス計画では、脳血管疾患の発症を防ぎ、高血圧リスクを減少させるため、新潟県の健康立県にいがた事業の5つの健康づくりテーマ「食生活」「運動」「デンタルケア」「たばこ」「早期発見・早期治療」に沿って、当支部の抱える健康課題解決に向けての施策（健康づくり講座やウォークラリー等）を推進していく予定です。

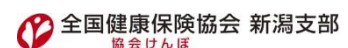
【添付資料】2022年度 支部別スコアリングレポート《新潟支部》

■全国健康保険協会(協会けんぽ)新潟支部 とは

➢主に中小規模の企業の従業員とその家族が加入し、新潟県民の約1/3が加入している医療保険者。

平成20年に政府管掌健康保険を引き継いで設立された。愛称が「協会けんぽ」。

➢加入事業所(加入者)数：40,231事業所(761,425人)(R5.11現在)



《本件に関するお問い合わせ先》

全国健康保険協会新潟支部 企画総務グループ 寺澤

〒950-8513

新潟市中央区東大通2-4-4 日生不動産東大通ビル3階

TEL 025-242-0260【自動音声案内④】

FAX 025-242-0280